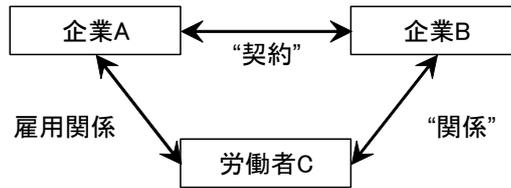


図は、企業と労働者の雇用関係を表している。企業Bと労働者Cの関係はどれか



- ア “契約”が請負契約で、企業Aが受託者、企業Bが委託者であるとき、企業Bと労働者Cとの間には、指揮命令関係が生じる
- イ “契約”がアウトourcingにかかわる契約で、企業Aが企業Bに労働者Cをアウトourcingさせたとき、企業Bと労働者Cとの間には指揮命令関係が生じる
- ウ “契約”が労働者派遣契約で、企業Aが派遣元、企業Bが派遣先であるとき、企業Bと労働者Cの間にも、雇用関係が生じる
- エ “契約”が労働者派遣契約で、企業Aが派遣元、企業Bが派遣先であるとき、企業Bに労働者Cがアウトourcingしているといえる

ISO 9001:2000の認定に関する記述のうち、適切なものはどれか

- ア 1回認定されると、資格は半永久的に有効である
- イ サービス産業を含まず、製造業を対象に認定する
- ウ 認定をする審査登録機関は、1国につき1機関である
- エ “品質マネジメントシステムの国際規格要求事項を満たす組織”を認定する

コンピュータを活用した新しいビジネスモデルを構築した。このビジネスモデルを保護する法律はどれか。

- ア 意匠法
- イ 商標法
- ウ 著作権法
- エ 特許法

別段の取り決めがない請負契約の場合、民法に基づき、当事者である注文者又は請負人に課せられている義務のうち、適切なものはどれか。

- ア 請負人は、請け負った仕事を完成させる。
- イ 請負人は、請け負ったすべての仕事を自ら行う。
- ウ 請負人は、仕事の完成後、その仕事に起因して発生した欠陥に対して恒久的に責任を負う。
- エ 注文者は、仕事にかかる費用を請負人に前払いする。

問題 03-05 AD190179

□□□□

A 社がシステム開発を行うに当たり、外部業者 B 社を利用する場合の契約に関する記述のうち、適切なものはどれか

- ア 委任契約では B 社に成果物の完成責任がないので、A 社が B 社の従業員に対して直接指揮命令権を行使する
- イ 請負契約によるシステム開発では、特に契約に定めのない限り開発されたプログラムの著作権は B 社に帰属する
- ウ 請負契約、派遣契約によらず、いずれの場合のシステム開発でも、B 社にはシステムの完成責任がある
- エ 派遣契約では、開発されたプログラムに重大な欠陥が生じた場合、B 社に瑕疵（かし）担保責任がある

問題 03-06 AD170179 AD200178

□□□□

派遣契約に基づいて就労している派遣社員に対する派遣先企業の対応のうち、適切なものはどれか。ここで、特別な就業規則の契約は行っていないものとする

- ア 営業情報システムのメンテナンスを担当させている派遣社員から、直接に有給休暇の申請があり、業務に差し障りがないと判断して、承認した
- イ グループウェアのメンテナンスを行うために、自社社員と同様に作業を直接指示した
- ウ 生産管理システムのデータ入力を指示したところ、入力ミスによって、欠陥製品ができたので、派遣元企業に対して製造物責任を追及した
- エ 販売管理システムのデータ処理が定時に終了しなかったので、自社社員と同様の残業を行うよう指示した

問題 03-07 AD200278

□□□□

不正競争防止法における営業秘密に該当するものはどれか。

- ア 会社役員の個人的なスキャンダル情報
- イ “厳秘”の表示をして、広く社内に回覧されている開発中の技術情報
- ウ “社外秘”の表示をして、施錠したロッカーに保管され、公然とは知られていない生産方式に関する情報
- エ 当該企業の商品を効果的に販売するための方法が記述された市販書籍

問題 03-08 AD180280

□□□□

刑法の電磁的記録不正作出罪でいう電磁的記録に含まれないものはどれか

- ア IC メモリ
- イ テレホンカード
- ウ バーコード
- エ 光ディスク

問題 03-09 AD180179 AD160177

□□□□

インターネットを利用した Web ページの知的財産権に関する記述のうち、適切なものはどれか

- ア Web ページの情報は、利用者からの閲覧要求があった時点で初めてサーバからクライアントへ送られる仕組みになっているので、著作権上の”送信”とはいえない
- イ 雑誌のグラビアをイメージスキャナで取り込み、Web ページに掲載する行為は、社会通念上認められない行為であるが、現行法上は著作権法違反にはならない
- ウ 他人の著作物があるテーマに基づいて収集している Web ページから、ある特定のコンテンツを抜き取って利用する場合、その Web ページの製作者の許諾を得ていれば著作権法違反にはならない
- エ マルチメディアの素材集（画像データやイラストなど）をソフトウェア販売店で購入し、自社の Web ページ作成時に利用しても、使用許諾書の範囲内で使用してれば、著作権法違反にはならない

問題 03-10 AD190154

□□□□

経済産業省”個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン”の物理的安全管理措置に該当するものはどれか

- ア 個人データの安全管理に関わる従業員の役割及び責任についての教育・訓練を実施する
- イ 個人データの漏えいなどの事故が発生した場合の、代表者などへの報告連絡体制を整備する
- ウ 個人データを取り扱う情報システムへのアクセスの成功と失敗の記録を取得する
- エ 個人データを取り扱う情報システムを、IC カードによる入退室管理を実施している室内に設置する

問題 03-11 AD190255 AD210155

□□□□

JIS Q 9001 (ISO9001) に基づく品質マネジメントシステムの運用に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア 組織内に幾つかの活動があり、活動内容が部門によって異なっても、品質目標は統一して定めることが品質確保に効果的である。
- イ 品質マニュアルが現実に守られないケースが多く発生した場合でも、一定期間継続してそのマニュアルを使用する。
- ウ 品質マネジメントシステムは国際規格に準じて構築されるので、プロセスの実施状況にかかわらず現状の品質マネジメントシステムの運用を継続すべきである。
- エ よく吟味されて作成された品質マネジメントシステムでも、運用段階で不都合があった場合は、正規の手続きを経て変更する。

問題 03-12 AD180278

□□□□

労働者の就労に関して、雇用関係とは別の指揮命令系統に従うことになるのはどれか

- ア 移籍出向
- イ 請負
- ウ パートタイム
- エ 派遣

問題 03-13 AD190280

□□□□

個人情報保護法の目的はどれか。

- ア 個人情報の取扱いで起こる事件・事故を想定し、被害者から加害者に対する損害賠償請求のルールを定め、弱者である被害者を保護する。
- イ 個人情報の取扱い範囲を厳しく制限することによって、個人の自由な活動や名誉を保証する。
- ウ 個人情報の売買や、それに準ずる行為の細部にわたる保護規則を定め、個人情報関連ビジネスの拡大・発展を図る。
- エ 個人情報の不適切な取扱いによって、個人の権利利益が侵害されることを未然に防止する。

問題 03-14 IP210252

□□□□

システム開発を外部に委託する場合に行う管理方法として、適切なものはどれか。

- ア 委託形態にかかわらず、開発作業の管理責任やリスクはすべて発注元が負うので、発注元が委託先の従業員に直接指示を出す。
- イ 一括請負であっても、開発プロジェクトのほかの一部を発注元が分担している場合は、発注元が委託先の従業員に直接指示を出す。
- ウ 一括請負の場合は、成果物を納入するまでの過程については、すべて委託先の責任とリスクで作業を実施するので、発注元が委託先の従業員に直接指示は出さない。
- エ 人材派遣を受け入れた場合は、派遣者が担当する開発作業のリスクは、派遣元の会社が負うので、発注元が派遣者に直接指示は出さない。

問題 03-15 IP210221

□□□□

新製品の開発に当たって生み出される様々な成果のうち、著作権法による保護の対象となるものはどれか。

- ア 機能を実現するために考え出された独創的な発明
- イ 機能を実現するために必要なソフトウェアとして作成されたプログラム
- ウ 新製品の形状、模様、色彩など、斬新な発想で創作されたデザイン
- エ 新製品発表に向けて考え出された新製品のトレードマーク

問題 03-16 AD180254 AD20255

□□□□

個人情報の取扱いについて、財団法人日本情報処理開発協会が運営し、適切な保護措置を講ずる体制を整備し運用している事業者を認定する制度はどれか

- ア Online Shopping Trust マーク制度
- イ TRUSTe プログラム
- ウ プライバシーシールプログラム
- エ プライバシーマーク制度

問題 03-17 AD180143

□□□□

複数の PC にワープロ、表計算などのソフトウェアを導入するときに、システムアドミニストレータが考慮すべき点として、適切なものはどれか

- ア PC 間のデータ互換性や、ライセンスコストを考慮して導入するソフトウェアの標準化を図る
- イ オンラインヘルプの機能があるソフトウェアについては、ベンダのサポート体制を考慮しなくても良い
- ウ ソフトウェアは使用者の好みがあるので、使用者に自由に選定させる
- エ 無償ソフトウェアであれば、使用者が任意に導入しても良い

問題 03-18 AD200250

□□□□

“コンピュータ不正アクセス対策基準”に規定されている利用者 ID に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア 同一部署内の同じ権限が設定されている利用者は、同一の利用者 ID を使用する。
- イ 複数の利用者 ID をもつ利用者は、すべての利用者 ID に対して同じパスワードを設定し、一定期間ごとに変更する。
- ウ 利用者 ID の登録抹消は、廃止の届出を受理後、誤って抹消することを防ぐため 1 週間経過後に行う。
- エ 利用者 ID を設定する場合は、権限を必要最小限のものにし、その利用者 ID を登録する対象機器も限定する。

問題 03-19 AD140278 AD210178

□□□□

フリーソフトウェアに関する記述として、適切なものはどれか

- ア 金銭的な諸権利と著作権を放棄したソフトウェア
- イ 定められた無料試用期間の後、継続して利用する場合は、所定の金額を開発者に支払う方式のソフトウェア
- ウ 複数のコンピュータにインストールすることを許可した市販のソフトウェア
- エ ライセンスに従って、内容の変更、コピー及び配布が自由にできる無償のソフトウェア

問題 03-20 AD180178

□□□□

ソフトウェアに対する著作権法による保護範囲に関する記述のうち、適切なものはどれか

- ア アプリケーションプログラムは著作権法によって保護されるが、OS などの基本プログラムは権利の対価が料金に含まれるので、保護されない
- イ アルゴリズムやプログラム言語は、著作権法によって保護される
- ウ アルゴリズムを記述した文書は著作権法で保護されるが、プログラムは保護されない
- エ ソースプログラムとオブジェクトプログラムの両方とも著作権法によって保護される

問題 03-21 AD190279

□□□□

労働者派遣法に基づいた労働者の派遣において、労働者派遣契約関係が存在するのはどの当事者の間か。

- | | |
|-----------------|----------------|
| ア 派遣先事業主と派遣労働者 | イ 派遣先責任者と派遣労働者 |
| ウ 派遣元事業主と派遣先事業主 | エ 派遣元事業主と派遣労働者 |

問題 03-22 AD200180

□□□□

e - 文書法を説明したものはどれか。

- ア Web サイトの掲示板に個人のプライバシーを侵害する書込みがあった場合などの事例に対し、プロバイダや掲示板の運営者の責任範囲を定めたもの
- イ 各種法令によって保存が義務付けられている文書について、電子化された文書ファイルでの保存を可能とするもの
- ウ 商取引に関する情報を標準的な書式で統一して、企業間で電子的に交換するために必要な規約をまとめたもの
- エ 電子署名とその認証に関する規約を定め、電子署名が手書き署名や押印と同様に通用する法的基盤を整備し、情報流通の促進を目的としたもの

問題 03-23 IP220201

□□□□

電子メールの送信例のうち、受信者への配慮の観点から、最も適切なものはどれか。

- ア 会員から抽出した 100 名のアドレスを一度にあて先 (To) に入れて、会員満足度調査のアンケートを電子メールで送った。
- イ 自社製品を紹介する大容量の資料を、圧縮せずに電子メールに添付して得意先に送った。
- ウ 製品の質問メールへの回答で、その内容を知ってもらいたい複数の顧客のアドレスを Cc に入れて返信した。
- エ 特別企画のホームページの URL を特定の限られた顧客に知らせるために、アドレスを Bcc に入れて送信した。

問題 03-24 IP210101

□□□□

コンプライアンス経営を説明したものはどれか。

- ア 株主に対して企業活動の正当性を保持するために、経営管理が適切に行われているかどうかを監視し、点検する。
- イ 株主やそのほかの利害関係者に対して、経営活動の内容、実績に関する説明責任を負う。
- ウ 企業倫理に基づき、ルール、マニュアル、チェックシステムなどを整備し、法令や社会規範を遵守した企業活動を行う。
- エ 投資家やアナリストに対して、投資判断に必要な正確な経営情報を適時に、かつ継続して提供する。

問題 03-25 AD190155

□□□□

“JIS Q 9000:2000 (ISO 9000:2000) 品質マネジメントシステム-基本及び用語”における第三者監査に該当するものはどれか

- ア 親会社の子会社の品質マネジメントシステムを監査する
- イ 顧客が取引相手の会社の品質マネジメントシステムを監査する
- ウ 自社の品質マネジメントシステムを内部目的のために監査する
- エ 監査機関が依頼を受けた会社の品質マネジメントシステムを監査する

問題 03-26 AD180156

□□□□

JIS Q 9001 (ISO 9001) で内部監査について規定していることはどれか

- ア 内部監査は、社内のシステム監査部門又はシステム監査技術者が行う
- イ 内部監査では、品質マネジメントシステムが定められたとおり正しく機能しているかどうかを、予告することなく不定期に確認する
- ウ 内部監査では、品質マネジメントシステムの効果的な実施と維持、個別製品の実現計画や規格要求事項への適合を確認する
- エ 内部監査を実施する前提条件として、ISO 9001 に基づく品質マネジメントシステムの審査登録が必要である

問題 03-27 AD200179

□□□□

ボリュームライセンス契約を説明したものはどれか。

- ア 企業などソフトウェアの大量購入者向けに、マスタを提供して、インストールできる許諾数をあらかじめ取り決める契約
- イ 使用場所を限定した契約であり、特定の施設の中であれば台数や人数に制限なく使用が許される契約
- ウ ソフトウェアをインターネットからダウンロードしたとき画面に表示される契約内容に同意すると指定することで、使用が許される契約
- エ 標準の仕様許諾条件を定め、その範囲で一定量のパッケージの包装を解いたときに、権利者と購入者との間に使用許諾契約が自動的に成立したとみなす契約

問題 03-28 IP210151

□□□□

ソフトウェア開発を請負契約で外部委託するときに、発注側が行わなければならないことはどれか。

- ア 契約前の作業着手の指示
- イ 作業者名簿の提出の要求
- ウ 作業場所や使用するコンピュータの手配
- エ 成果物一覧や納期の提示

問題 03-29 AD190278

□□□□

不正競争防止法で保護されるものはどれか。

- ア 特許権を取得した発明
- イ 頒布されている独自のシステム開発手順書
- ウ 秘密として管理している事業活動用の非公開の顧客名簿
- エ 秘密としての管理を行っていない、自社システムを開発するために重要な設計書

問題 03-30 IP220212

□□□□

意匠法における意匠の説明として、最も適切なものはどれか。

- ア 自然法則を利用した技術的思想に基づいて発明したもの
- イ 思想又は感情を文章や音、絵などで創造的に表現したもの
- ウ 文字や図形、記号、立体的形状などで表した商品のマーク
- エ 物の形状や模様、色彩などで表した商品のデザイン

問題 03-31 IP210124

□□□□

不正アクセス禁止法において違法となる行為はどれか。

- ア インターネット通信販売の広告において、事業者氏名などの表示義務を怠った。
- イ 音楽用 CD を、無断で複製し販売した。
- ウ 個人情報を含む名簿を、無断で名簿業者などに販売した。
- エ 他人の ID を無断で使用して、インターネットオークションに出品や入札をした。

問題 03-32 AD210154

□□□□

“コンピュータ不正アクセス対策基準”に適合しているものはどれか。

- ア 監視効率を向上させるためにすべてのネットワークを相互接続する。
- イ 業務上必要な場合は、利用者 ID を個人間で共有して使用できる。
- ウ システム管理者が、すべての権限をもつ利用者 ID を常に使用できる。
- エ 組織のセキュリティ方針を文書化し、定期的に研修を開催する。

問題 03-33 AD190277

□□□□

A 社は顧客管理システムの開発を、情報システム子会社である B 社に委託し、B 社は要件定義を行った上で、設計・プログラミング・テストまでを協力会社である C 社に委託した。C 社では優秀な D 社員にその作業を担当させた。このとき、開発したプログラムの著作権はどこに帰属するか。ここで、関係者の間には、著作権の帰属に関する特段の取決めはないものとする。

- ア A 社
- イ B 社
- ウ C 社
- エ D 社員

問題 03-34 AD200277

□□□□

著作権法による保護の対象となるものはどれか。

- ア ソースプログラムそのもの
- イ データ通信のプロトコル
- ウ プログラムに組み込まれたアイデア
- エ プログラムのアルゴリズム

問題 03-35 AD200279

□□□□

労働者派遣における派遣元の責任はどれか。

- ア 派遣先での時間外労働に関する法令上の届出
- イ 派遣労働者に指示する業務遂行状況の管理
- ウ 派遣労働者の業務遂行に必要となる物資の調達
- エ 派遣労働者への休日、休憩時間の適切な付与

問題 03-36 AD190177

□□□□

コンピュータプログラムなどの著作物に関する記述のうち、適切なものはどれか

- ア 共同開発によるプログラムの著作権は、開発費用を負担した割合にしたがって権利が帰属する
- イ 著作権は、プログラムには認められるが、データベースについては認められていない
- ウ 著作権法では、プログラム及びプログラムを作成するためのノウハウを保護の対象としている
- エ 著作物を作成するために用いるプログラム言語や規約は、著作権法による保護の対象外である

問題 03-37 AD180279 AD210180

□□□□

個人情報保護法の定める個人情報に該当しないものはどれか

- ア 営業担当者が保有している個人見込客リスト
- イ 顧客のアンケート結果を統計処理し、年齢別に集約したデータ
- ウ 索引付きのファイルを用いて、手作業で管理されている名刺
- エ 従業員の人事考課情報

問題 03-38 AD190178

□□□□

不正競争防止法が保護する対象はどれか

- ア 事業活動に有用な技術又は営業上の秘密として管理されている情報
- イ 自然法則を利用した技術的思想の創作のうち高度なもの
- ウ 著作物を翻訳、翻案して創作された二次的著作物
- エ 法人の発意に基づいて作成されたプログラムの著作物

問題 03-39 IP220213

□□□□

JIS Q 9000 では、品質とは“本来備わっている特性の集まりが、要求事項を満たす程度”と定義されている。この定義に基づいて評価した時、品質の良い製品として、最も適切なものはどれか。

- ア クレームが少なく顧客満足度が高い製品
- イ 製造を外部に委託せず自社で生産している製品
- ウ 設計や製造に CAD/CAM を導入している製品
- エ 良質の材料や部品を利用している製品

問題 03-40 IP210211

□□□□

インターネットなどのネットワークを介してコンピュータを利用する場合において、不正アクセス禁止法で禁止されている行為はどれか。

- ア 他人の ID とパスワードを、本人の許可なく、その利用方法を知っている第三者に教えること
- イ 他人の PC 操作を盗み見るなどして、他人の ID とパスワードを入手すること
- ウ 本人の了解を得ることなく、他人のメールアドレスを第三者に教えること
- エ 本人の了解を得ることなく、不正に他人のメールアドレスを入手すること

問題 03-41 IP220130

□□□□

不正アクセス禁止法が禁じている行為はどれか。

- ア 公序良俗に反する画像などを、自分の日記と一緒にブログ上で公開すること
- イ 大量の電子メールを送信し、他人のメールサーバに障害を起こさせること
- ウ 他人の著作物を、出所などを明示せずに自分のホームページで利用すること
- エ パスワードを使って保護されているサーバに、ネットワーク経由で他人の ID とパスワードを使ってログインすること

問題 03-42 IP220210

□□□□

A 社では、自社で働いている派遣会社 B 社からの派遣社員の就業管理用に、B 社の Web 版の派遣社員就業管理システムをインターネット経由で使用している。このシステムを用いた当該派遣社員の日常の就業時間の承認者として、最も適切な者はどれか。

- ア 派遣先 A 社のシステム管理者
- イ 派遣先 A 社の業務責任者
- ウ 派遣元 B 社のシステム管理者
- エ 派遣元 B 社の管理責任者

問題 03-43 IP210115

□□□□

知的財産権のうち、権利の発生のために申請や登録の手続きを必要としないものはどれか。

- ア 意匠権
- イ 実用新案権
- ウ 著作権
- エ 特許権

問題 03-44 AD210177

□□□□

特許権を説明したものはどれか。

- ア 産業上利用することができる新規の発明を独占的・排他的に利用できる権利であり、所轄の官庁への出願及び審査に基づいて付与される権利
- イ 事業者が自己の商品を他人の商品と識別するために商品について使用する標識を、独占的・排他的に利用できる権利
- ウ 新規の美術・工芸・工業製品などで、その形・色・模様・配置などについて加える装飾上の工夫を、独占的・排他的に利用できる権利
- エ 文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属する著作物を、その著作者が独占的・排他的に支配して利益を受ける権利

問題 03-45 AD130280 AD210179

□□□□

法人でPC100台分のソフトウェアXのライセンスを購入し、ライセンス分のインストールを実施した。使用許諾契約を遵守しているものはどれか。

- ア PC10台を他部署へ移動させたが、ディスク内のソフトウェアXは消去せず、移動先でそのまま使用した。
- イ 新規にPC10台を購入し、ソフトウェアXをインストールしたが、ライセンスの追加購入はしなかった。
- ウ ソフトウェアXが販売停止となったので、ライセンス使用状況の管理を中止し、自由にインストールできるようにした。
- エ ソフトウェアXをインストールしたPCの台数ではなく、同時に利用している台数が、購入したライセンス数を超えないようにした。

問題 03-46 IP210223

□□□□

労働基準法において、時間外および休日の労働を認めるために既定されていることはどれか。

- ア 会社の就業規則が作成されていること
- イ 本人の労働意思が個別に確認されていること
- ウ 労使の協定を書面で締結し、行政官庁に届け出ること
- エ 割増賃金について、支給細目が決まっていること

問題 03-47 IP220125

□□□□

著作者の了解を得ないで次の行為を行った場合、著作権法に照らして適法な行為はどれか。

- ア 購入したCDの楽曲を自分のPCにコピーし、PCで毎日聴いている。
- イ 購入したCDの楽曲を自分のホームページからダウンロードできるようにしている。
- ウ 自社製品に関する記事が掲載された雑誌のコピーを顧客に配布している。
- エ 録画したテレビドラマを動画共有サイトにアップロードしている。

問題 03-48 AD200177

□□□□

プログラムの著作物について、著作権法上適法である行為はどれか。

- ア 海賊版を複製したプログラムと事前に知りながら、業務でを使用した。
- イ 業務処理用に購入したプログラムを複製し、社内教育用として各部門に配布した。
- ウ 職務著作のプログラムを、作成した担当者が独断で複製し協力会社に貸与した。
- エ 処理速度を向上するなど、効果的利用のためにプログラムの改変を行った。

問題 03-49 AD210163

□□□□

企業経営における、コンプライアンス強化の目的はどれか。

- ア 企業存続の危機につながりかねない、経営者や従業員による不祥事の発生を抑制する。
- イ 競合他社に対する差別化の源泉となる経営資源を保有し、競争力を強化する。
- ウ 経営者の権力行使をけん制し、健全な経営を行うことができる仕組みを作る。
- エ 顧客、株主、従業員などの利害関係者の満足度を向上させ、企業の継続した発展を図る。

問題 03-50 IP210109

□□□□

不正競争防止法の営業秘密に該当するものはどれか。

- ア インターネットで公開されている技術情報を印刷し、部外秘と表示してファイリングした資料
- イ 限定された社員の管理下にあり、施錠した書庫に保管している、自社に関する不正取引の記録
- ウ 社外秘としての管理の有無にかかわらず、秘密保持義務を含んだ就業規則に従って勤務する社員が取り扱う書類
- エ 秘密保持契約を締結した下請け業者に対し、部外秘と表示して開示したシステム設計書

問題 03-51 IP220232

□□□□

CD-ROM に記録された PC のソフトウェアパッケージを購入することによって、購入者に帰属する権利はどれか。

- ア CD-ROM に記録されたプログラムの使用权
- イ CD-ROM に記録されたプログラムの著作権
- ウ プログラムの記録された CD-ROM の意匠権
- エ プログラムの記録された CD-ROM の著作権